

民意を無視する安倍政権にNO! 共謀罪法案の本質は「戦争への道！」



六月十三日(火)、雨の中の日比谷野外音楽堂に五千二百人の参加者が集まり、「共謀罪廃案」の氣勢を上げました。集会は海渡雄一弁護士による主催者挨拶から始まり、国會議員挨拶では立憲野党(社民・民進・共産・自由)四党の代表が壇上に立ち、共謀罪の危険性を訴え、「市民と野党の力で何としてもこの共謀罪を廃案に追い込もう! 権力側の脅しに萎縮することなく、声を上げ続けよう!」と力強く訴えました。

社民党からは福島みずほ副党首が挨拶に立ちました。また京都大学教授(刑法学)の高山佳奈子さん、日本ペンクラブの吉岡忍さんなど、五人のスピーカーから挨拶が続きました。

▼福島みずほ副党首発言骨子:「共謀罪法案は秘密保護法、戦争法案と続いてきた『戦争のできる国へ』の道、安倍政権の策動の総仕上げであり、それに反対する市民を弾圧することこそ、この法案の本質。強行採決されれば、警察権力の恣意的な・日常的な市民への監視活動は各段に強まる。(沖縄では、すでにその状況が先取りされている。)こんな法案を絶対に許す訳にはいかない。市民と力を合わせて、廃案に追い込もう!」と力強く訴えました。

「6.13市民集会」に5千200人が集結! 雨の中 日比谷野音

強行採決は国民への挑戦!



2017年6月13日(火)
#211 写真ニュース
6.13市民集会 日比谷野音
: 党神奈川 教育宣伝委員会発行

共謀罪を廃案に! 安倍改憲NO!
6・13市民集会
6/13(火)
日比谷野外音楽堂
18:30~ 集会
集会後銀座デモ
共催 共謀罪NO! 実行委員会 / 総がかり行動実行委員会

絶対に諦めない! 共謀罪NO!



「市民と力を合わせ、共謀罪法案を廃案に追い込もう」と氣勢を上げた立憲野党代表、中央は福島みずほ副党首

